

奈弓連だより

通巻 211 号

令和元年 9 月号
発行 奈良県弓道連盟
会長 西中 正
編集担当 野尻賢司 山本悦子
連絡先 : henshu@narakyudo.jp

国体近畿ブロック大会

少年女子と成年男子が国体出場決定

国体近畿ブロック大会が 8 月 17 日(土)、18 日(日)に橿原公苑弓道場で開催されました。木曜日は台風が近付き、準備が金曜日からとなりましたが、気温は高くなつたものの晴天に恵まれ無事に実施出来ました。

奈良県勢は、少年女子は遠的、近的とも 1 位、成年男子は遠的 1 位、近的 2 位でそれぞれ総合 1 位となり本国体へ駒を進めます。

(事務局)

全日・国体・ねんりんピック壮行会

新子さんが代表選手に力強いエールを送る

全日本近的・遠的選手権大会・国体・ねんりんピックの壮行会が 9 月 1 日(日)に橿原公苑弓道場において 97 名が参加して行われました。今年は新子修平さんが、大きく元気な声で選手の皆様に力強いエールを送って下さり、また壮行会に出席して頂いた方々からも温かい励ましの言葉を頂いて、選手の皆さんには勇気づかれ試合に向けてますます精進されることと思います。

午後はトーナメント射会(国体選手との交歓射会)が近的競技の団体戦(団体 3 人)で行われました。

結果は次の通りです。

予選通過チーム

・ 松本雄介	伊藤千貴	新子修平	8 中
・ 土谷ひろみ	脇阪佳工	吉岡瑞紀	6 中
・ 蔵地隆文	矢野有吾	山口亮二	8 中
・ 藤岡順	菅沼利人	吉本清巳	6 中
・ 東中千佳	原田温美	長濱有美	7 中
・ 片山智子	栄島なるみ	西田ゆり	7 中

国体選手(シード)

成年男子

・ 檜尾涼 山崎太成 遠藤元威

少年女子

・ 落合珠梨 植木鈴華 吉田実莉

決勝トーナメント

1 位	落合珠梨	植木鈴華	吉田実莉
2 位	檜尾涼	山崎太成	遠藤元威
3 位	蔵地隆文	矢野有吾	山口亮二
	片山智子	栄島なるみ	西田ゆり

(競技部 西田ゆり)

昇段おめでとうございます

橿原公苑弓道場で 8 月 25 日に開催された奈良県定期地連審査会において次のお二人が四段に昇段されました。

岡 雅佳 (香芝支部)
野村 真 (橿原支部)

おめでとうございます。

(事務局)

奈良県定期地連審査

初段 60 名、式段 9 名、参段 3 名、四段 2 名合格

8 月 25 日に橿原公苑弓道場において、第 283 回奈良県定期地連審査が開催されました。
結果は次の通りです。

級位 受審者 42 名 合格 37 名
(1 級 28 名、2 級 9 名、現級 5 名)

初段 受審者 73 名 合格 60 名 欠席 2 名

式段 受審者 18 名 合格 9 名

参段 受審者 9 名 合格 3 名

四段 受審者 4 名 合格 2 名

(審査部 平木一史)

シニア部研修会及び記録会

気温 34 度を超える暑さのなか、60 名が参加

9 月 11 日(水)橿原公苑弓道場で、第 5 回の研修会及び記録会が行われ、60 名が参加。晴天ではありましたが気温 34 度を超える暑さと、異常な高湿気の中での開催となりました。

最初に受講生、射手 教士六段平木一史、第一介添 錬士六段岡本薦子、第二介添 五段中川 亨による矢渡しが行われました。講評として、まずは着装をしっかりと整えること、目遣いに注意すること、3 人の調和を考えること、本座、射位を間違えても修正しない、膝を生かし続けること、などの指導をいただきました。

(3 頁に続く)

弓道との出会い

弓を引く姿を私が最初に見たのは昭和34年の春、大阪造幣局の桜の通り抜けに行った時です。沿道にある造幣局弓道場で女性たちが弓を引いていたのです。すぐに「やつてみたい」と思ったのですが、今と違ってネット検索もできず、弓道場を探せなくそのままになって仕舞いました。

再び私が弓道と出会ったのは、昭和45年の夏。生徒募集のポスターを見て、大阪府八尾市の弓道場を訪問した時で、既に32歳っていました。道場はブラック建て三人立ちの粗末な建物。入門者は私一人だけ。入門手続きの際に、弓道協会の西川繁会長(教六)が何も聞かずに、開口一番「続きますかな?」と一言おっしゃったのが印象的でした。「真剣に練習に励みます」と答えた事を覚えていました。

五段の先輩から「当たりは押手に有り」と、「押せ、押せ、押して押しまくれ」と叱咤され、その言葉に従い、練習に励みました。成果が実って初段から三段まで順調に合格しました。しかしながら、同時に「突っ込み離れの癖」の難病に罹ってしまい、未だに治らなく現在に至っています。

大腿骨粉碎骨折後の苦闘

参段に昇段した後、昭和48年12月に会社で作業中に高所から転落して大腿骨粉碎骨折の重傷を負い、弓道の稽古を諦めざるを得なくなりました。高校時代から始めた山岳部で鍛えた自慢の足も使えず、また22歳から始めた観世流謡曲でも長時間の正座が出来ない状態になってしまいました。懸命のリハビリに励み一部不自由な部分が残りましたが、ほぼ常人並みの運動機能に回復しました。

審査では幸いにも順調に昇段して、入門8年目の昭和54年11月に、京都中央審査で鍊士の称号を取得するこ



大腿骨粉碎骨折の重傷の後、リハビリを経て弓道に復帰

とが出来ました。ところが、鍊士合格後に驕慢の気が起り、的中すれども射形悪しの状況に陥ったのです。焦って、もがけばもがくほど「早氣」にもなり、泥沼の状態から抜け出せない期間が続きます。射形は悪いものの的中はそこそこ有ったものですから、余計に厄介です。その後家内にも弓道を勧めて夫婦二人で弓道に励むことにしました。

弓道に取り組む気構えが完全に変わる

平成5年に奈良に転宅して奈良市弓道場に通わせて頂く機会をえました。奈良市弓道協会会長の岡田弘先生、菊川秦作先生など小笠原流の先生方がおられました。他府県からの移籍でしたが皆さん親切でした。菊川秦作先生からは特に体配の大切さを教わりました。

その後、吉本清信名誉会長が全日本選手権の伊勢大会に参加されているのを知り、名だたる先生方の射影を拝見する機会を得て三度に亘り見学に行かせて頂きました。会場には弓道の中の別格の世界があり、今まで見たことも無い弓道の神髄を見た様な気がしました。これまで私が練習していた弓道は「唯の中で弓」だと云う事がわかり、私の中で弓道に取り組む気構えが完全に変わりました。しかし、永年に亘って積み重ねた悪癖は容易には改善されず、悪戦苦闘の日々が続きました。

東京の先輩から呼吸の大切さを教わる

一つの光明が射す出会いがありました。小笠原流の行事で知り合った東京の田崎義太郎(教六)様から弓道の呼吸法を工夫するアドバイスを得たのです。この呼吸法を実践して漸くにして19年間の悪戦苦闘を克服して平成11年7月に金沢の中央審査に於いて六段に合格し、さらに平成17年11月には東京中央審査に於いて「教士」に合格しました。

現在、健康でいられるのも弓道の呼吸法に依るものと思います。弓道の呼吸法は、息を鼻から吸って口から細く長い息を使って吐き出す自然体の呼吸と同じ方法ですが、出来るだけ静かに細く長く吐き出すことです。「長息法」→「腹式呼吸法」→「丹田呼吸法」と深化させ実践しています。約3年前には股関節が痛み出して人工関節置換手術を受けましたが、現在のところ、血液検査結果でも全ての数値は正常で、医学上の異常は一切なく、常備の薬も一切服用していません。

現在81歳、弓を始めて49年、このまま行けば90歳までは弓道と付き合えるのでは無いかと感じています。「的中」を求めずして「行射」する努力を続けたい、また、気の会った人達と一緒に弓が引けたら良いと思っています。

続いて、範士九段吉本清信、教士七段竹村邦夫、教士七段新司正人、教士七段西中正、教士六段阪中計夫の諸先生による諸先生の模範的射礼。普段目にすることのない県連トップの射礼を緊張感もって拝見して、高段者ならではの調和のとれた動きと、その迫力に今年も感動させられました。改めて弓道の奥深さを知ることになりました。その後、受講生による一手行射で午前の予定を終了。

午後は指導講師による班別研修に移り、一人ひとり丁寧な指導を受け、蒸し暑い中でも時間が経つのを忘れるくらい充実したものとなりました。回を重ね5回目となると、受講生も要領がつかめ、招集、矢とり、看的、記録、班別の移動などスムースな運営がなされたように思いました。プログラムの最後に四矢による記録会が行われました。最初の一手と合わせて6射での記録結果は下記のとおりです。

無級~4段 1位 大門俊美 (奈良市) 3中

2位 松本真一 (橿原市) 3中

3位 山下常子 (奈良市) 3中

5段以上 1位 徳田四郎 (奈良市) 6中

2位 平田和豊 (鍊弓会) 4中

3位 山本元祥 (橿原市) 4中



午後は講師による班別研修が実施された

(シニア部 千葉健一)

奈良市弓道近的選手権大会兼会長杯争奪戦

男子会長杯: 奥田和大選手(西の京高校)

女子会長杯: 細川萌選手(帝塚山大学)

9月8日(日)、残暑の厳しい日差しを感じながら、奈良市弓道協会主催で第31回奈良市弓道近的選手権大会兼第10回会長杯争奪戦が、71名の参加で奈良市弓道場において行われました。

大会は、射手:野尻祥枝 教士六段、第一介添:井上ゆみ子 五段、第二介添:長谷部好子 四段による矢渡しで開始されました。競技は、四ツ矢2立計8射による的中数で競われました。それぞれの部で順位決定の

競射があり、熱戦が繰り広げられました。

最高的中数の選手に与えられる会長杯を手にしたのは、男子が奥田和大選手(西の京高校)、女子が細川萌選手(帝塚山大学)でした。無段の部から選ばれる優秀賞は西田樹選手(西の京高校)に決定しました。競技会の結果は次の通りです。

無段の部: 1位 奥田和大 (西の京高)

2位 鈴木愛 (西の京高)

3位 安部莉乃果 (西の京高)

初・式段の部: 1位 細川萌 (帝塚山大学)

2位 河野穂香 (帝塚山大)

3位 岡貴司 (協会)

参・四・五段の部 1位 中山誠一郎 (協会)

2位 中西康馨 (協会)

3位 上田香翠 (協会)

称号の部: 1位 岡本薫子 (協会)

2位 中井達男 (協会)

3位 越智和子 (協会)



左から無段の部優秀賞の西田選手、男子会長杯の奥田選手、女子会長杯の細川選手、参・四・五段の部優勝の中山選手、称号の部優勝の岡本選手

(奈良支部 越智和子)

夏期強化練習会

県内の高校を3つのブロックに分けて開催

8月19日(月)~21日(水)橿原公苑弓道場において県内の高校を3つのブロックに分けて、令和元年度夏期強化練習会(県ブロック大会)が開催されました。

Iブロック (19日) 各自 12射

奈良・奈良北・奈良高専・西和清陵・畠傍・登美ヶ丘

IIブロック (20日) 各自 12射

橿原・榛生昇陽・高田商業・大宇陀・桜井・王寺工業・五條

IIIブロック (21日) 各自 8射

西の京・平城・奈良大附属・郡山・磯城野・橿原学院・法隆寺国際

I ブロック(19日)の結果

女子団体

- 1位 奈良高校 (吉岡・大津・神尾)
- 2位 奈良高校 (徳田・笛田・田頭)
- 3位 奈良高専 (村山・山田・中村)

男子団体

- 1位 紗倉高校 (岡本・福西・峯山)
- 2位 奈良北高校 (山口・田次・新山)
- 3位 奈良高校 (鈴木・植田・岸本)

女子個人

- | | |
|--------------|----------------|
| 1位 加藤碧 (奈良) | 1位 峰林里玖 (紗倉) |
| 2位 吉岡咲希 (奈良) | 2位 新山章太郎 (奈良北) |
| 3位 飯田琴香 (紗倉) | 3位 植田力斗 (奈良) |

男子個人

- | | |
|--------------|----------------|
| 1位 加藤碧 (奈良) | 1位 峰林里玖 (紗倉) |
| 2位 吉岡咲希 (奈良) | 2位 新山章太郎 (奈良北) |
| 3位 飯田琴香 (紗倉) | 3位 植田力斗 (奈良) |

II ブロック(20日)の結果

女子団体

- 1位 高田商業高校 (竹原・都築・廣田)
- 2位 桜井高校 (奈加・米川・尾松)
- 3位 榛生昇陽高校 (沼田・加持・桶谷)

男子団体

- 1位 檜原高校 (大津・田中・松岡)
- 2位 桜井高校 (久保・金原・岡本)
- 3位 榛生昇陽高校 (岩井・川上・米田)

女子個人

- | | |
|----------------|----------------|
| 1位 竹原見幸 (高田商業) | 1位 米田隼斗 (榛生昇陽) |
| 2位 平松美久 (檜原) | 2位 金原那智 (桜井) |
| 3位 奈加風華 (桜井) | 3位 森井貴大 (王寺工業) |

男子個人

- | | |
|----------------|----------------|
| 1位 竹原見幸 (高田商業) | 1位 米田隼斗 (榛生昇陽) |
| 2位 平松美久 (檜原) | 2位 金原那智 (桜井) |
| 3位 奈加風華 (桜井) | 3位 森井貴大 (王寺工業) |

III ブロック(21日)の結果

女子団体

- 1位 郡山高校 (落合・磯橋・北口)
- 2位 西の京高校 (関屋・乾・島田)
- 3位 西の京高校 (安部・鈴木・望月)

男子団体

- 1位 平城高校 (植西・松尾・※)
- 2位 西の京高校 (永本・西田・奥田)
- 3位 郡山高校 (稻岡・西垣・屋根)

女子個人

- | | |
|---------------|--------------|
| 1位 落合珠梨 (郡山) | 1位 ※ (平城) |
| 2位 関屋柚香 (西の京) | 2位 植西颯平 (平城) |
| 3位 鈴木愛 (西の京) | 3位 屋根大輝 (郡山) |

(高体連 藤村佳照)

全国中学生弓道大会で男子が活躍

団体: 香芝中が5位、個人: 奥田選手が7位 入賞

第16回全国中学生弓道大会 JOCジュニアオリンピックカップが8月17日(土)・18日(日)に全日本弓道連盟中央道場にて男子42団体、男子個人43名、女子44団体、女子個人44名の選手が参加して、開催されました。大会の期間中、涼しく、弓を引きやすいという天候に恵まれました。奈良県勢は男子が団体・個人ともに決勝進出を果たすことができました。ご指導頂いた連盟の先生方ははじめ、高校の先生・先輩方に、心より感謝申し上げます。奈良県勢の結果は以下の通り。

個人予選 8射5中以上で通過

男子個人 奥田翔大 (香芝中3年) 8射6中

女子個人 細川友里愛 (檜原中3年) 8射3中

団体予選 各人8射 計24射の総的中上位16チーム通過

男子団体 香芝中 (奥田、山口、樋口、麦林)
24射13中で予選通過

女子団体 檜原中 (前田、武村、古岡、浅田)
24射9中で予選敗退

決勝男子個人 奥田翔大 (香芝中3年) 射詰 ○○○×
→遠近競射により 7位入賞

決勝男子団体 香芝中 (奥田、山口、樋口、麦林)
1回戦 対 愛知県藤岡南中 (愛知県)
8中 対 6中 で勝利
準々決勝 対 鬼怒中 (栃木県)
7中 対 9中 で敗退
結果 5位入賞



全国中学生弓道大会で入賞した選手たち

(中体連 藤原淳、松田翔太)

編 | 集 | 後 | 記

全国中学生弓道大会で香芝中学が男子団体戦で準々決勝まで進み5位に、また男子個人の部でも香芝中の奥田翔大選手が7位に、入賞されました。おめでとうございます。

敬老月間に因み、81歳でなおも元気に弓を引いておられる松岡教士にご寄稿いただきました。

野尻賢司